

市ヶ谷出版社発行

「初学者の建築講座 建築施工（第四版）」正誤表

2025年3月14日

ページ等		誤	正
73	左段25行	設計者や <u>管理者</u> と協議し、	設計者や <u>工事監理者</u> と協議し、
74	左段18行	異形棒鋼の径は <u>D6</u> （6.4mm）～D51（51mm）までの <u>13種類</u> があるが、	異形棒鋼の径は <u>D4</u> （4.23mm）～D51（50.8mm）までの <u>16種類</u> があるが、
74	左段20行	また強度による区分として、 <u>SD295, 345, 390, 490の4種類</u> がある。	また強度による区分として、 <u>SD295, SD345, SD390, SD490, SD590（A, B）, SD685（A, B, R）, SD785, SD785Rに分類される。</u>
75	表 6 ・ 1	設計かぶり厚さ <u>屋内 屋外</u>	設計かぶり厚さ <u>非腐食環境 腐食環境</u> （JASS 5 2022年版により改訂）
75	表 6 ・ 1	最小かぶり厚さ <u>屋内 屋外</u>	最小かぶり厚さ <u>非腐食環境 腐食環境</u> （JASS 5 2022年版により改訂）
81	表 6 ・ 5 種類	鋼製・コンクリート製（3カ所）	鋼製・コンクリート製・ <u>モルタル製</u> （3カ所） （JASS 5 2022年版により改訂）
81	表 6 ・ 5 スラブ：数量または配置	1.3個/程度 m ² 程度	<u>間隔は0.9m程度</u> <u>端部は0.1m以内</u> <u>（JASS 5 2022年版により改訂）</u>
98	左段7行	(2) 構造体コンクリートの圧縮強度の検査	JASS 5(2022年版)の改正により、A法とB法のいずれかの方法で行うことになったが、本書はB法のみを記載した。
206	表 1 1 ・ 1	<u>竣工事</u> に提出する主な申請書類	<u>竣工時</u> に提出する主な申請書類